

# 本 会 報

## 学会だより

### ◇ 常任幹事会議事録

開催日時：平成 25 年 9 月 7 日（土）15：00～17：30

開催場所：東京大学大学院農学生命科学研究科

出席者：奥野員敏・吉村淳・熊丸敏博・福岡修一・横井修司・岩田洋佳・宅見薫雄・阿部純・笹沼恒男・奥本裕・友岡憲彦・片山健二・犬飼義明・北野英己・加藤鎌司  
欠席者：大坪憲弘・佐藤和広・一谷勝之・有村慎一

各常任幹事からの経過報告後、次々大会開催予定・次々々大会開催地について、男女共同参画推進委員会から提出された「日本育種学会の男女共同参画の推進に向けての提案」について、編集委員の辞退と推薦について、編集事務局山本氏引退に伴う編集作業の中西印刷への委託について審議された。また、将来構想委員会の進捗、記者発表について、Global Plant Council への対応について、幹事会の議題について報告された。

### ◇ 幹事会議事録

開催日時：平成 25 年 10 月 11 日（金）15：00～16：45  
開催場所：鹿児島大学 農学部 1 階（101 講義室）

参加者：奥野員敏・吉村淳・熊丸敏博・阿部純・加藤清明・笹沼恒男・中村俊樹・横井修司・千田峰生・西尾剛・石本政男・江面浩・岩永勝・矢野昌裕・大澤良・勝田真澄・山本俊哉・佐々英徳・高溝正・房相佑・岩田洋佳・堤伸浩・平野久・北野英己・犬飼義明・奥本裕・宅見薫雄・寺石政義・加藤鎌司・佐藤和広・辻本壽・一谷勝之・松田靖・友岡憲彦・有村慎一・福岡修一・片山健二・山岸博  
委任状：三上哲夫・原田竹雄・木庭卓人・川上直人・野々村賢一・岩崎行玄・斉藤大樹・坂井真・近藤勝彦・大坪憲弘  
欠席：松岡信

#### 1. 報告

各常任幹事（総務、科研費・農学会、ホームページ、地域、編集英文誌、編集和文誌、集会）からの経過報告後、下記の議事が行われた。

#### 2. 議事

(1) 平成 25 年度日本育種学会賞の選考について

受賞候補者氏名：原田竹雄（弘前大学農学生命科学部）

受賞候補者氏名：農研機構・北海道農業研究センター小麦育種グループ（代表者 田引正）

受賞候補者氏名：農研機構・九州沖縄農業研究センター「にこまる」「きぬむすめ」育成グループ（代表者 坂井真）

学会賞等選考委員会、幹事会の議を経て、以上の 3 件を選定した。

(2) 平成 25 年度日本育種学会奨励賞の選考について

受賞候補者氏名：田口和憲（農研機構・北海道農業研究センター）

学会賞等選考委員会、幹事会の議を経て、以上の 1 件を選定した。

また、編集委員の推薦について、平成 26 年度秋季大会（第 126 回講演会・第 56 回シンポジウム）開催地について、男女共同参画推進委員会からの提案書について、内規の一部改定について議論され、承認された。

### ◇ 第 124 回講演会日本育種学会優秀発表賞

2013 年日本育種学会秋季大会（第 124 回講演会）における日本育種学会優秀発表賞が下記の 13 課題に決定されました。

**講演番号 103**：ゲノム DNA を用いたリアルタイム PCR によるコムギ種子色に関連する Tamyb10-D1 遺伝子ホモ/ヘテロ接合性判定 ☆氷見英子・前川雅彦・松浦恭和・武田真（岡山大学資源植物科学研究所）

**講演番号 121**：Vigna 属野生種の Neo-domestication ☆高橋有<sup>1,2</sup>・内藤健<sup>1</sup>・伊勢村武久<sup>1</sup>・武藤千秋<sup>1</sup>・坂井寛章<sup>1</sup>・加賀秋人<sup>1</sup>・Natesan, Senthil<sup>3</sup>・Muthaiyan, Pandiyan<sup>3</sup>・友岡憲彦<sup>1</sup>（1. 農業生物資源研究所, 2. 日本学術振興会特別研究員, 3. タミルナドゥ農業大学）

**講演番号 P127**：ダイズミニコアコレクションにおける開花期のゲノムワイド関連解析 ☆津田麻衣<sup>1</sup>・渡辺啓史<sup>2</sup>・清水武彦<sup>1</sup>・町田佳代<sup>1</sup>・石本政男<sup>1</sup>・加賀秋人<sup>1</sup>（1. 農業生物資源研究所, 2. 佐賀大学）

**講演番号 420**：ゲノムワイド SNP マーカーを用いたソルガム遺伝資源の遺伝的多様性評価 ☆阿部竜之<sup>1</sup>・高梨秀樹<sup>1,6</sup>・永野惇<sup>3,7</sup>・大柳一<sup>2,6</sup>・小林正明<sup>2,6</sup>・田井中均<sup>1,6</sup>・佐々木敦司<sup>4</sup>・徳永毅<sup>4,6</sup>・佐塚隆志<sup>5,6</sup>・吉村和紗<sup>1</sup>・矢野健太郎<sup>2,6</sup>・岩田洋佳<sup>1,6</sup>・堤伸浩<sup>1,6</sup>（1. 東大・院農, 2. 明大・農, 3. 京大・生態研, 4. (株)アースノート, 5. 名大・生物機能, 6. JST・CRREST, 7. JST・さきがけ）

**講演番号 P141**：スギ高密度連鎖地図情報を利用した雄性不稔遺伝子と連鎖する DNA マーカーの開発 ☆森口喜成<sup>1</sup>・伊原徳子<sup>2</sup>・内山憲太郎<sup>2</sup>・上野真義<sup>2</sup>・松本麻子<sup>2</sup>・二村典宏<sup>2</sup>・斎藤真己<sup>3</sup>・樋口有未<sup>4</sup>・伊藤信治<sup>4</sup>・宮嶋大介<sup>5</sup>・篠原健司<sup>2</sup>・津村義彦<sup>2</sup>（1. 新潟大・院自然科学, 2. 森林総合研究所, 3. 富山森林研, 4. 元新潟県森林研, 5. 新潟県森林研）

**講演番号 107**：Benchtop 型シーケンサーを利用した、非モデル作物種における効率的な Genotyping ☆門田有希<sup>1</sup>・山本彩加<sup>2</sup>・進藤彰子<sup>1</sup>・田原誠<sup>1</sup>（1. 岡山大・院環境生命科学, 2. 岡山大・農）

**講演番号 104**：イネにおける Nested Association Mapping 解析 ☆阿部陽・高木宏樹・八重樫弘樹・宇津志博恵・植村亜衣子・落合祐介・寺内良平（岩手生物工学研究センター）

**講演番号 P044**：巡回セールスマン問題を応用したヒロハ

ノマンテマY染色体欠失マッピング ☆風間裕介<sup>1</sup>・石井公太郎<sup>2</sup>・青沼航<sup>3</sup>・川元寛章<sup>3</sup>・池田時浩<sup>2</sup>・松永杏樹<sup>1</sup>・河野重行<sup>3</sup>・阿部知子<sup>1,2</sup> (1. 理研・イノベーション推進センター, 2. 理研・仁科センター, 3. 東京大・院・新領域・先端生命)

講演番号 P128: *Vigna* 属ゲノムプロジェクト ☆坂井寛章・内藤健・小木曾映里・加賀秋人・伊藤剛・友岡憲彦 (独立行政法人農業生物資源研究所)

講演番号 P033: 画像解析によるサクラソウ (*Primula sieboldii*) 花卉形状と花容の定量的評価 ☆青木瑞代・吉岡洋輔・大澤良 (筑波大・院生命環境)

講演番号 606: イネの腋芽休眠におけるストリゴラクトン下流遺伝子の探索 ☆高橋徳・駱榮・経塚淳子 (東大院農学生命科学研究科)

講演番号 417: イネ転移因子 *mPing* 挿入 (STAMP) データベースの活用 ☆安田加奈子<sup>1</sup>・築山拓司<sup>1</sup>・齊藤大樹<sup>1</sup>・内藤健<sup>2</sup>・寺石政義<sup>1</sup>・谷坂隆俊<sup>1</sup>・奥本裕<sup>1</sup> (1. 京大・院農学, 2. 農業生物資源研究所)

講演番号 325: 膜透過ペプチドを利用したイネフロリゲンタンパク質直接導入による人為的開花制御 ☆鷺田治彦・辻寛之・大木出・田岡健一郎・島本功 (奈良先端大・バイオサイエンス)

## ◇ 日本育種学会第124回講演会選定課題記者会見報告

発表日時: 平成25年10月7日14:00~15:00

会場場所: 東大弥生会館アネックス講義棟

出席者: 熊丸敏博, 岩田洋佳

化学工業日報, 科学新聞社, 共同通信社, 日本農業新聞から4名の記者が参加し, 5題の課題について記者発表を実施した. 記者会見後に講演番号225の課題が日本農業新聞, 科学新聞, 講演番号P009の課題が全国農業新聞, 日本農業新聞, 中国新聞, 山陽新聞, 毎日新聞に掲載された.

(1) 講演番号: 122, 123

「多収イネ品種タカナリの持つ個葉光合成速度を増加させるQTLの単離」

山本敏央・高井俊之・安達俊輔・田口文緒・荒井裕見子・岩澤紀生・吉永悟志・廣瀬咲子・谷口洋二郎・山内歌子・呉健忠・松本隆・杉本和彦・近藤勝彦・一家崇志・安藤露・河野いつみ・伊藤幸恵・正村純彦・大川泰一郎・平沢正・矢野昌裕・近藤始彦 (農業生物資源研究所, 農研機構作物研究所, 東京農工大学)

「イネ個葉光合成速度に関わる遺伝子 *CAR8* のマップベースクローニング」

安達俊輔・山内歌子・七夕高也・Sun Jian・平沢正・山本敏央・米丸淳一 (独立行政法人農業生物資源研究所, 日本学術振興会特別研究員PD, 理研・環境資源科学研究センター, 東京農工大学大学院農学府)

(2) 講演番号: 225

「ウスヒラタケ由来 *MSH4* ホモログ “*stpp1*” は栽培きのこの無孢子性栽培品種育成のための有効な標的である」奥田康仁・村上重幸・小島靖・村口元・本田与一・松本晃幸 (鳥取大農, 菌茸研, 奈良県森技セ, 秋田県立大, 京大院農)

(3) 講演番号: 324

「フェリチンを葉緑体で高発現する遺伝子組換えレタス後代の解析」

井上理恵子・植村香織・寺地徹 (京産大院・工, 京産大・総合生命科学)

(4) 講演番号: 412

「水稲品種コシヒカリを遺伝背景とする強稈関連量の遺伝子座の集積」

丸山甲晃・伊山幸秀・蛭谷武志・小林俊也・平沢正・大川泰一郎 (東京農工大・院農, 富山県農林水産総合技術センター)

(5) 講演番号: P009

「製パン性に優れた温暖地向けコムギ新品種「せときらら」の育成」

高田兼則・谷中美貴子・石川直幸・池田達哉・船附稚子 (農研機構近中四農研)

## 受賞候補者募集の案内

### ◇ 第55回藤原賞受賞候補者の推薦について

公益財団法人藤原科学財団より, 第55回受賞候補者の推薦依頼が届いています. 推薦の対象は自然科学分野に属するもの. 日本国籍を有するとともに日本在住であること.

推薦希望者は, 平成26年1月6日(月)までに推薦書(電子ファイル)を電子メールにて庶務幹事・福岡修一宛に送付して下さい. 学会賞選考委員会で審査のうえ, 該当者を会長名で推薦いたします. 詳細については, 藤原科学財団ホームページ (<http://www.fujizai.or.jp>) をご覧下さい. 福岡修一 日本育種学会庶務幹事 〒305-8602 茨城県つくば市観音台2-1-2 農業生物資源研究所農業生物先端ゲノム研究センター TEL/FAX: 029-838-7006 E-mail: fukusan@affrc.go.jp

## 研究助成公募等の案内

### ◇ 公益財団法人タカノ農芸化学研究助成財団 平成26年度研究助成公募のお知らせ

#### 平成26年度研究助成対象者募集要領

本財団は, 農学, 特に農芸化学(生物資源等)に関する学術研究を助成し, もって学術研究の発展に寄与することを目的とし設立されました. 本年度も, 農芸化学等に関する研究を行っている大学等の研究機関の研究者に対し, 研究助成金を交付いたします. 特に, 若手研究者への助成の枠を設け, 今後の当該分野の研究促進に役立つ

ちたいと考えています。平成 26 年度助成対象者は次の要領で募集いたします。

1. 研究分野：(A) 豆類並びに穀類の生産技術（栽培・育種・施肥等）に関する研究 (B) 豆類並びに穀類の品質成分、栄養生理、栄養機能、利用加工技術に関する研究 (C) 納豆菌等微生物の特性・酵素等に関する研究
2. 研究助成対象者：(1) 国内の大学、短大の研究者（大学院生も含む）(2) 国公立並びに独立行政法人等の研究機関の研究者 (3) その他本財団の理事会において適当と認められた研究者 (4) その他本財団が適当と認めた研究者 (1) 一般研究者（40 歳以上）1 件当たり 100 万円を 7 件程度 (2) 若手研究者（40 歳未満）1 件当たり 50 万円を 6 件程度

※若手研究者は、昭和 49 年 4 月 1 日以降生まれの方

3. 交付時期：平成 26 年 5 月予定
4. 申請手続き方法：財団所定の申請書に必要事項を記入の上、平成 26 年 1 月 15 日から 3 月 10 日（必着）までに財団理事長宛てに郵送して下さい。尚、申請書用紙は、タカノフーズ（株）ホームページ <http://www.takanofoods.co.jp/> 内【タカノ財団について】からダウンロードできます。または、E-mail にお問合せいただきましたら、書類を添付して返信いたします。
5. 申請書請求先及び送付先：〒311-3411 茨城県小美玉市野田 1542（公財）タカノ農芸化学研究助成財団  
TEL: 0299-58-4363 FAX: 0299-58-3847  
E-mail: tazaidan@takanofoods.co.jp
6. その他：同一研究課題で、他の団体等へ応募され、かつ、本年度重複助成となられた場合には、助成をできない場合がありますのでご注意ください。  
※研究テーマ検索：(財) 助成財団センター提供  
<http://www.jfc.or.jp/>  
タカノフーズ（株）HP <http://www.takanofoods.co.jp/company/foundation/index.shtml>

#### ◇ ビーチェル-ポーローグ国際奨学金プログラムのお知らせ

日本モンサント株式会社から、ビーチェル-ポーローグ国際奨学金プログラムのご案内がありました。米国モンサント・カンパニーでは去年に引き続き、テキサス A&M 大学アグリライフ研究所とモンサントが運営している、イネ・小麦育種分野での博士課程取得を目指す学生への奨学金（モンサント・ビーチェル-ポーローグ国際奨学金プログラム）を実施いたします。2014 年度の奨学金申込み受付は、2013 年 11 月 1 日から開始され、**2014 年 2 月 1 日**までです。日本モンサントでは日本語のページも開設しておりますので、詳しくは以下の web サイトをご覧ください。

〈モンサント・ビーチェル-ポーローグ国際奨学金プログラム〉  
<http://www.monsanto.co.jp/responsibility/sustainable-ag/mbbisp-program/>

#### ◇ 2014 年度サッポロ生物科学振興財団研究助成公募について

2014 年度サッポロ生物科学振興財団研究助成公募が開始されました。

1. タイトル：サッポロ生物科学振興財団 2014 年度研究助成
2. 団体名：公益財団法人サッポロ生物科学振興財団（電話：03-5423-7209）
3. 内容：1) 食の喜びや幸せに重要な『味の認知』及び『美味しさの創造』に関する調査・研究 2) ヒトの健康維持に貢献する『食の健康機能性』に関する調査・研究 3) 『食の安全・安心』に関する調査・研究 4) 『食の安定（量的、質的）供給』に関する調査・研究（\* 但し、微生物、植物、農業に関する分野に限定） 5) 『食の利用性向上又は環境への影響』に関する調査・研究
4. 金額：70 万円・6 件
5. 公募期間：11 月 1 日～12 月 27 日（必着）
6. 詳細参照：<http://www.sapporoholdings.jp/foundation/koubo/index.html>

#### 集会の案内

#### ◇ Joint EUCARPIA Cereal Section & ITMI Conference のお知らせ

EUCARPIA から「Joint EUCARPIA Cereal Section & ITMI Conference」の案内がありました。トピックスは、「Cereals for Food, Feed and Fuel—Challenge for Global Improvement」です。2014 年 6 月 29 日から 7 月 4 日までドイツで開催されます。アブストラクトの受付や早期受付は、**2014 年 1 月 31 日**までとなっています。詳しい情報は以下の Conference の web ページをご覧ください。[http://meetings.ipk-gatersleben.de/EUCARPIA\\_ITMI\\_2014/](http://meetings.ipk-gatersleben.de/EUCARPIA_ITMI_2014/)

#### 日本育種学会会員異動（2013.7.21～2013.10.20）

◇普通会員入会：寺内良平（岩手）、阿部清美、伊澤（佐藤）カナナ、深沢芳隆（茨城）、大山亮、山口昌宏（栃木）、大串憲祐（群馬）、伊藤裕介（愛知）、植村香織（京都）、杉野彩（奈良）、WIN KHIN THANDA（福岡）

◇学生会員入会：吉津祐貴（岩手）、工藤純平（宮城）、小林桃佳、堀島佑月（東京）、原田萌（神奈川）、戸丸祐貴（新潟）、馬場拓也（静岡）、岡部真弥、辻雅之、山本一皓（京都）、伊藤大樹（岡山）、上原誉史（佐賀）、石川裕貴、中畑祐太郎（宮崎）

◇外国会員入会：University of Seoul Library（大韓民国）

#### 住所変更等

◇普通会員：小野泰一（青森）、佐藤久実（山形）、赤坂舞子、加藤浩、後藤新悟、高木恭子（茨城）、前田寛明（富山）、中川淳也（滋賀）、馬場孝秀（福岡）